

# 平成 28 年度 第 1 回 認知症対応型通所介護運営推進会議 記録

## ● 事業所情報

法人名	清和園 久世ホーム
事業所	京都市久世老人デイサービスセンター認知症対応型通所介護

## ● 開催日時・場所

日時	平成 28 年 8 月 26 日（金） 13:45～14:15
場所	久世ホーム 会議室

## ● 参加者（順不同）

NO	所属（役職）	氏名
1	久世学区民生児童委員協議会 会長	川崎様
2	築山町自治会 副会長	森田様
3	京都市久世地域包括支援センター 社会福祉士	千木様
4		
5	京都市久世老人デイサービスセンター認知症対応型通所介護 久世ホーム副施設長	中村 真悟
6	京都市久世老人デイサービスセンター認知症対応型通所介護（担当者）	戎谷 高士
7		

## ● 議事

NO	議事内容
1	認知症対応型通所介護、地域密着型サービスについて
2	利用状況について
3	事故報告、苦情について
4	事例照会
5	京都市自主点検
6	その他（質疑応答等）

## ● 記録

議事 1	認知症対応型通所介護、地域密着型サービスについて
	→中村副施設長より 認知症を発症しても住み慣れた地域で過ごすことが出来る。地域の日常に合わせたサービスの提供をさせて頂く観点から地域の会議を行いたい。また地域を見守るサービスとして認知症対応型通所介護のサービスを提供していきたい。

	<p>→戎谷より</p> <p>認知症対応型通所介護とは、日帰りで施設に通い、他の利用者と交流しながら、認知症に対応した介護や機能訓練をすることのできるサービスです。少人数制なので、家庭的な雰囲気の中、手厚くサービス受けることができます。久世デイサービスでは認知症へのアプローチとして身体面の不調からくる認知症の周辺症状の緩和の一環として、ご利用時に食物繊維入りのお茶ゼリーの提供や水分補給の強化にて便通の改善や脱水予防をさせて頂いています。また落ち着かれないご利用者へは軽作業の提供や、ご自身の興味ある物事を提供させて頂き、少しでも落ち着いて過ごして頂けるような配慮をおこなっています。</p> <p>認知症を発症されたご利用者の方でも住み慣れた地域で安心して暮らしていく事が出来るという観点から認知症対応型通所介護が地域密着型サービスに位置付けられました。</p> <p>地域密着型サービスとは介護が必要な状態になっても住み慣れた地域で暮らしていけるように、市町村指定の事業者が地域住民に提供するサービス。狭いようで広い日本、それぞれ地域の事情も違います。高齢者福祉の面だけで考えても、高齢化率や財政状況が違う市町村をひとくくりに考えることはできません。そこで平成18年から新しく始まったのが地域密着型サービスです。各市町村が主体になることで、それぞれの地域の実情に合わせた指定基準や介護報酬設定が可能になりました。また、地域住民のニーズに合わせて、より細やかでバランスの良いサービスを提供しやすくなっています。</p>
<p>議事2</p>	<p>利用状況について</p>
	<p>4月～8月</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・登録者数…46名 休止者…10名（入院・体調不良により長期休みの方）</li> <li>・利用定員12名ご利用頂いています。</li> </ul>
<p>議事3</p>	<p>事故報告、苦情について</p>
	<ul style="list-style-type: none"> <li>・事故報告書 4月～8月 10件</li> </ul> <p>事例：M様 要介護4 男性 無断外出、徘徊</p> <p>ご利用開始から落ち着きがなく、「ここはどこなんや?」「ちょっと行かなあかんところがあるねん。」等の発言が見られていた為、対応する職員は5分ごとの所在確認を行っていた。午後に入浴サービスを受けられ、入浴後の水分補給もされおやつを提供させて頂き、自席で穏やかに召し上がられていた。（15：05の事。）15：10にご本人が認知症対応型で一サービスのフロアにおられない事に気付き、入浴場、トイレ、その他施設内を捜すも所在不明。一般型デイサービスフロアにもおられず、見守りを除くすべての職員で施設周辺を捜索する事になる。</p> <p>→15：25施設近所の交番前に座り込んでおられるご本人を発見。発見した職員を迎えに行き、大事には至らなかった。</p> <p>発見が遅くなれば脱水や交通事故等の危険性も高くなるため、捜索開始から30分以上</p>

	<p>で警察への要請を行う予定であった。</p> <p>普段は施設内をウロウロと徘徊される事はあるが、施設外へ出られる事は無い方であったが、ご利用開始からの不穏状況等から警戒はしていたが、無断外出という事故に至ってしまった。</p> <p>→中村副施設長より</p> <p>事故が起こらない事が前提ではあるが、警戒していても起きてしまう事故がある。今回は大事に至らなかったが、事故から学ぶ…ではないが振り返り等をおこない今後活かせるようにしていかなければならない。その為には職員の介護技術等の向上や、施設（ハード面）の見直しをしていかなければならないと同時に、このような会議の場での考察が必要である。</p> <p>・苦情 4月～8月 2件</p> <p>送迎時の職員の言葉遣いに対する苦情</p> <p>排泄介助の確認不足により、紙パンツの着用の確認が出来ていなかった事への苦情</p>
議事 4	事例紹介
	<p>N様 要介護 4 女性</p> <p>ご利用開始前は骨折から入院されリハビリの為に老人保健施設へ入所されておられ、在宅復帰後リハビリと入浴目的の為にデイサービスの利用開始となった。平成 28 年 7 月 16 日のサービス担当者会議にて不穏状況等続く様であれば、認知症対応型通所介護のご利用も可能とお伝えしており、平成 28 年 7 月 21 日より通所介護ご利用開始、1 週間のご利用にて午後からの帰宅願望や不穏状況が極めて見られる事からご家族に認知症対応型通所介護のご利用をお勧めする。現在は少人数の認知症対応型通所介護にてお過ごし頂き、ご本人の興味を持てる軽作業の提供や職員による不穏時のマンツーマン対応により少しづつご自身が安心して居る事の出来る場所と認識して下さっているご様子です。ご利用開始から 1 ヶ月なので、帰宅願望や情緒不安定になられる事もありますが、顔なじみの他利用者の方や職員からの声かけにより状況が落ち着かれ始められています。</p> <p>今後も様子を見ていこうと思います。</p>
議事 5	京都市自主点検
	<p>自主点検表の照会と実際に行った自主点検の資料（コピー）を配布</p> <p>別紙参照</p>
議事 6	その他（質疑応答等）
	<p>千木社会福祉士より</p> <p>別紙“いなくなる前にできること！いなくなってもできること”の資料配布</p> <p>いざという時の備忘録への登録により、ここ最近所在不明者が出た際に警察からの問い合わせが数多くある。警察の捜索もだが、地域で見守りのできる環境の整備や協力</p>

	<p>体制が出来ればと思う。</p> <p>ご参加者より</p> <p>介護の基準はどのような形になっているのですか？</p> <p>→ご本人の身体状況や精神状況から非該当（介助が必要で無い方）、要支援 1、2、要介護 1～5 に分れています。身体を動かす事がしにくい方や認知症の症状が強く出ている方…主治医の意見や、ケアマネジャーによる様々な角度からの判断で認定が出ます。より良いサービスを提供していくために職員の育成や施設のハード面の補修等を行っていき、サービス提供の向上に繋げていきたいと考えています。</p>
--	--

以上

担当者	戒谷 高士
-----	-------